

浅井町 ふれあいたより



4月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 令和3年4月1日
発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)
ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

「自分で考え 行動できるように」 一宮市立浅井北小学校 校長 太田 暢子

新入学、進級おめでとうございます。本年度も浅井4小中学校へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。昨年の4月は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、学校は臨時休校となってしまいました。そして、さまざまな情報が飛び交い、何が正しいのか冷静に見極めることも難しい状況でした。学校ではそのような状況下で、子どもたちがさぞ心細い日々を過ごしているであろうと案じていました。そこで、少しでも子どもたちを安心させたいと、本校ウェブサイト以下のような記事を掲載しました。

「絵本作家 かこ さとしさんの思い」

みなさん、元気になっていますか。今日は先生の大好きな絵本作家 かこさとしさんについて紹介したいと思います。かこさんは、「だるまちゃん と てんぐちゃん」などのだるまちゃんシリーズ、「からすのパンやさん」などのからすの家族が主人公のお話シリーズがあります。読んでみたことがある人もいることでしょう。「からすのおかしやさん」のさし絵には、おいしそうなお菓子がいっぱい描かれていますよ。みんななら、どれを食べてみたいかな？

かこさんのお話の中には、たくさんものの中から、一つ自分の気に入ったものを選ぶ楽しみがあります。たとえば「だるまちゃん と てんぐちゃん」では、たくさんせんすの中から、だるまちゃんがお気に入りのせんすを一つ選ぶ場面がありました。なぜ、そのような場面をお話の中に入れたのか、以前、かこさんがお話をされていました。

かこさんが、子どもの頃、日本は戦争をしていました。かこさんは、日本中が戦争で戦っている兵隊さんの勇ましいお話を聞いて、いつか自分も立派な兵隊さんになることを夢見るようになりました。でも、戦争が終わってみると、家族を亡くし、住む家や仕事もなくし、多くの人がつらく悲しい思いをしていることに気がつきます。その時、かこさんは、自分が一つの情報だけを信じてしまい、ものごとをいろいろな目で見えていなかったことをとても悲しく思ったそうです。そこで、かこさんは、絵本の中で、さまざまなものを選ぶ場面を描くことにしました。それは、子どもたちに世の中には選ぶものがたくさんあって、その中から自分が一番いい(正しい)と思うものを選んでほしいと願ったからだそうです。

かこさんの絵本は、わくわくする楽しいさし絵があふれていますが、その中には、かこさんのこうした思いが込められているのです。今、世の中には、新型コロナウイルスに関する様々な情報があふれています。先生は、たくさん情報を比べ、また、しっかりと調べ、考えて行動していきたいと思います。皆さんもどうぞ、落ち着いて行動してくださいね。

子どもたちの周りには、日々たくさん情報があふれています。情報は私たちの生活になくしてはならないものですが、時として人を惑わせ、傷つけます。子どもたちにはよりよい情報の使い手・送り手になるよう常に自分で考え行動することの大切さを、今年度も伝えていきたいと思えます。地域の皆様におかれましても、子どもたちが自分で考え、行動できますよう、今後も温かなご支援ご協力をお願いいたします。



退任の挨拶①

地域づくり協議会相談役 和田 勝美

ご町内の皆様こんにちは。私ことこの春をもちまして地域づくり協議会相談役を退任することになりました。振り返りますと、平成23年浅井公民館成人学習部副部長を振り出しに、その翌年は浅井町の連区長を仰せつかり、その後副公民館長、公民館長、地域づくり協議会会長、相談役と今春で区切りのいい10年間浅井町の皆様に支えられ、たくさんの方からお力添えをいただき、大過なく務めることが出来ました。



この10年間一番の思い出は5年間の公民館活動の中で、地域の沢山の皆様と知り合いになれたこと、また地域づくり協議会では、特に重点を置いた防災事業を優先して実施し、防災講演会開催・防災資器材町内配布・防災リーダー育成・防災マップを作成し全戸配布。またふれあいたよりのカラー印刷です。そして2年前から青色防犯パトロール隊の結成に取り組み、昨年4月から本格的に稼働するようになりました。

これもすべて地域の皆様のご理解とご協力の賜物であり、素晴らしいスタッフの皆さんが支えて下さったおかげだと思っています。最後になりますが、この歴史と伝統のある浅井町が益々発展することをお祈りしまして、退任の挨拶といたします。長い間有難うございました。

退任の挨拶②

地域づくり協議会会長 栗本 和徳



三代目会長として令和元年、2年の2年間お世話になりました東尾関の栗本です。平成27年度に連区長としてご指名頂いてから6年間地域づくり協議会に携わってきましたが、その間に、地域づくり協議会主催の社会見学の実施、そして男の料理教室を開催。また地域づくりのホームページの開設等、いろんな企画にチャレンジして、地域づくり協議会が多くの方々に受け入れられるよう、力を注いできました。まだまだ認知度が低い浅井町地域づくり協議会ですが、次世代を担う新しい方々に、必ずや引き継がれることと思います。これからも浅井町地域づくり協議会に、皆様方の暖かいご支援とご協力を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

和田相談役に感謝状贈呈

3月9日(火)浅井町地域づくり協議会役員会が浅井公民館で開催され、その席上、長年地域福祉と地域発展に多大なる功績があった相談役和田勝美様に感謝状と記念品が贈呈されました。平成24年の地域づくり協議会設立時から骨身を惜しまず、全身全霊かけて連区長、公民館長、地域づくり協議会会長等の重責を担っていただきました。

浅井町地域づくりの表彰規定により感謝状を授与されるものであります。長い間、ご尽力いただき、誠にありがとうございました。これからも地域の発展にご尽力賜りますよう、宜しくお願いします。



市制施行 100 周年と中核市へ

一宮市は、市制施行100周年を迎える2021(令和3)年4月に中核市へ移行します。尾張地域では初めての中核市となり福祉、保健衛生、環境、都市計画、教育分野などで新しいサービスの提供が期待されます。特に新型コロナ対策で重要な役割を果たしている保健所機能が一宮市に移管されるとともに、多くの仕事が愛知県から一宮市に移り、事務手続きの簡素化、スピードアップ、部署の枠を超えた連携、独自ルールを取り入れたオリジナル施策が可能になります。市民にとってメリットが実感できる環境が整備されます。

いちばんだいすき。一宮



ICHINOMIYA CITY 2021